

令和5年度 第1回
希望郷いわてモニターアンケート質問書

課題名	地域福祉に関する意識調査
-----	--------------

令和5年6月

岩手県保健福祉部地域福祉課

※この質問書は控えとしてお持ちいただき、回答用紙に答えをお書きください。

地域福祉に関する意識調査

岩手県保健福祉部地域福祉課

アンケートの目的について

県では、「互いに認め合い、共に支え合いながら、誰もが安心して暮らし、幸福を実感できる地域社会の実現」を基本理念に掲げ、平成21年3月、「岩手県地域福祉支援計画」を策定し、社会福祉制度や地域の状況変化を踏まえて5年おきに計画を見直しながら、「ソーシャルインクルージョン」※₁の考え方を基本方針として、地域共生社会※₂の実現に向けて取組みを進めているところです。

本調査は、今後の地域福祉に関する施策の参考にするとともに、今年度策定を進めている、第4期計画の基礎資料とするものです。

趣旨を御理解の上、御協力いただきますようお願い申し上げます。

第1期計画：平成21年度～平成25年度
第2期計画：平成26年度～平成30年度
第3期計画：平成31（令和元）年度～令和5年度

用語の定義について

<地域福祉>

それぞれの地域において人びとが安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方。
(社会福祉法人全国社会福祉協議会 ホームページから)

<※1 ソーシャルインクルージョン>

それぞれの人が持つ潜在的な能力をできる限り発揮できるようにするため、誰も排除せず、一人一人を社会の構成員として取り込むという考え方。社会的包摂。
(厚生労働白書から)

<※2 地域共生社会>

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のこと。

(厚生労働省 地域共生社会ポータルサイトから)

質問は2ページから7ページまで、全部で18問あります。

質問はここから

問1 「地域福祉」という言葉から、どのようなイメージを受けますか。イメージに最も近いものを1つ選んでください。

- ① だれにとっても暮らしやすい社会をつくること
- ② 経済的に困っている人を助けること
- ③ お年寄りや障がいのある人、子育て中の人などを周りの人が支えること
- ④ 日常生活において困ったときにお互いに助け合うこと
- ⑤ お年寄りや障がいのある人のために施設や制度を整えること
- ⑥ ボランティアとして活動すること
- ⑦ 募金をすること
- ⑧ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問2 お住まいの市町村の「地域福祉計画」について御存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 内容について知っている
- ② 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
- ③ 計画があることを知らない

問3 「岩手県地域福祉支援計画」について、御存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 内容について知っている
- ② 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
- ③ 計画があることを知らない

問4 近所の方とどの程度のお付き合いをしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 困った時に何でも相談し助け合える人がいる
- ② 家を行き来するなど親しく付き合っている
- ③ 会えば立ち話をする程度
- ④ あいさつを交わす程度
- ⑤ ほとんど付き合いがない
- ⑥ 隣近所にどんな人が住んでいるかわからない

問5 今の近所付き合いに満足していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 満足している
- ② ある程度満足している
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり満足していない
- ⑤ 満足していない

問6 近所付き合いについてどのように考えますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 必要であり、積極的に関わりたい
- ② 必要であり、機会があれば関わりたい
- ③ あまり関わりたいくない
- ④ あまり必要性を感じない
- ⑤ 必要ではない
- ⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問7 自治会・町内会活動に参加していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① よく参加している →問7-補1へ
- ② ある程度参加している →問7-補1へ
- ③ あまり参加していない →問7-補2へ
- ④ まったく参加していない →問7-補2へ
- ⑤ 自治会や町内会組織がない →問8へ

問7-補1 【問7で①又は②を選択された方にお聞きします。】

理由として最も近いものを1つ選んでください。

- ① 地域とのつながりが大切だから
- ② 参加することは当たり前だと思っている
- ③ 参加しないことで、近所から冷たくされる
- ④ 参加が強制であるため
- ⑤ 何となく
- ⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください） (→問8へ)

問7-補2 【問7で③又は④を選択された方にお聞きします。】

理由として最も近いものを1つ選んでください。

- ① 忙しくて時間がない
- ② 自分の趣味や余暇活動を優先したい
- ③ 地域の付き合いがわずらわしい
- ④ 興味・関心がない
- ⑤ 声がかからない
- ⑥ 何をいつ、どこでやっているのかわからない
- ⑦ 一人で参加しづらい
- ⑧ その他（具体的に回答用紙に記入してください） (→問8へ)

問8 ボランティア活動への参加状況について、あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 現在参加している →問8-補1へ
- ② 以前、参加したことがある →問8-補1へ
- ③ 今まで参加したことはない →問8-補2へ

(次ページへ)

(前ページから)

問8-補1【問8で①又は②を選択された方にお聞きします。】

理由として最も近いものを1つ選んでください。

- ① 福祉活動に関心があったから
- ② 自分の経験のため
- ③ 参加を勧められたから
- ④ 学校活動の一環として
- ⑤ 職場の方針として
- ⑥ 所属団体の方針として
- ⑦ 何となく
- ⑧ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

(→問9へ)

問8-補2【問8で③を選択された方にお聞きします。】

理由として最も近いものを1つ選んでください。

- ① 忙しくて時間がない
- ② 自分の趣味や余暇活動を優先したい
- ③ ひと付き合いがわずらわしい
- ④ 興味・関心がない
- ⑤ 声がかからない
- ⑥ 何をいつ、どこでやっているのかわからない
- ⑦ 一人で参加しづらい
- ⑧ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

(→問9へ)

問9 近所に住んでいる、何らかの生活・福祉課題を抱える方や家庭への支援についてどのように考えますか。最も近いものを1つ選んでください。

- ① できる範囲で支援したい →問9-補へ
- ② 専門の相談機関や行政機関（各種の支援センターや役所・役場、社会福祉協議会等）が支援すればよい
- ③ 家族や親族で対応するべきだ
- ④ 自分で何とかするべきだ
- ⑤ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問9-補【問9で①を選択された方にお聞きします。】

あなたが協力できると思う支援について、あてはまるものをすべて選んでください。

- ① 話し相手や相談相手
- ② 日常生活での見守りや声掛け
- ③ 買い物、通院等の付添い
- ④ 買い物、ゴミ出し、除雪等の代行
- ⑤ 調理、掃除や洗濯などの家事
- ⑥ 身体的な介助（食事、排泄、入浴等）
- ⑦ 短時間の子どもの預かり
- ⑧ 災害時の避難の手助け
- ⑨ 専門の相談機関や行政機関との橋渡し
- ⑩ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

(→問10へ)

問 10 生活や福祉に関する相談や悩みごとで自分では解決が難しいことがあった場合、まず、どのようなところに相談しますか。主なものを1つ選んでください。

- ① 家族・親族
- ② 友人・知人
- ③ 隣近所の人
- ④ 職場の同僚や上司
- ⑤ 民生委員・児童委員
- ⑥ 専門の相談機関や行政機関（各種の支援センターや役所・役場、社会福祉協議会など）
- ⑦ 相談できる人はいない
- ⑧ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 11 あなた自身が、加齢や病気・障がいのために自分の力だけでは自立して生活することが難しくなった場合、どのようにしたいですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① すべて家族に世話をしてほしい
- ② 家族に世話をしてもらいながら、在宅サービスも利用する
- ③ 家族の世話を受けず、在宅サービスを利用する
- ④ 施設やグループホームに入所する
- ⑤ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 12 あなたの家族（又は身近な親族等）が、加齢や病気・障がいのために本人の力だけでは自立して生活することが難しくなった場合、どのようにしたいと思いませんか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① すべて家族で世話をする
- ② 家族で世話をしながら、在宅サービスも利用する
- ③ 家族は関わらず、在宅サービスを利用してもらう
- ④ 施設やグループホームに入所させる
- ⑤ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 13 あなたは、お住まいの地域における将来の生活環境について、不安に感じていることはありますか。主なものを2つまで選んでください。

- ① 地域の雇用の場の減少
- ② 地域の担い手（若者、町内会など）の減少
- ③ 地域内外の人が集まる交流場所の減少
- ④ 日常的な買い物をする場所の減少
- ⑤ 公共交通機関の減少
- ⑥ お住まいの住宅の維持・建て替えができるか
- ⑦ 福祉施設（介護施設、障がい者支援施設など）の減少
- ⑧ 子育て・教育施設（保育園、幼稚園、学校など）の減少
- ⑨ 文化施設（博物館や図書館、公民館など）の減少
- ⑩ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 14 地域福祉における課題について、重点的に取り組む必要があると思うものを3つ選んでください。

- ① 経済的な困窮
- ② 住まいの確保
- ③ 移動手段の確保
- ④ 失業・就労対策
- ⑤ 子どもの健全育成
- ⑥ 子育て支援
- ⑦ 障がい（児）者への支援
- ⑧ 高齢者への支援
- ⑨ 自殺対策
- ⑩ ひきこもり・社会的孤立
- ⑪ 性的違和を抱える方への支援
- ⑫ がん・難病・慢性疾患を抱える方への支援
- ⑬ 再犯防止・地域定着支援
- ⑭ 女性支援
- ⑮ 家族介護者支援（ケアラー、ヤングケアラー、ダブルケアなど）
- ⑯ 人と人とのつながりづくり
- ⑰ 災害避難者支援・被災者支援
- ⑱ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 15 地域福祉を推進するために、行政はどのような分野を優先して取り組むべきだと思いますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

- ① 地域福祉を担う人材の育成
- ② 地域住民等に対する福祉の意識の醸成
- ③ 身近なところでなんでも相談できるような相談体制の整備
- ④ 総合的な福祉サービス情報提供の充実
- ⑤ 権利擁護や苦情対応等の取組
- ⑥ 住民による身近な支え合い活動への支援
- ⑦ ボランティア等の活動支援
- ⑧ 被災地の福祉コミュニティの再生と生活支援
- ⑨ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 16 地域における福祉教育（思いやりの心を育み、福祉への理解を深めるための取組）について、どのように行うべきだと思いますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- ① 学校教育の場で学ぶ
- ② 講演会やセミナーで学ぶ
- ③ 家庭の中で学ぶ
- ④ 地域の活動などを通して学ぶ
- ⑤ 特に必要はない
- ⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 17 県では今年度、第4期岩手県地域福祉支援計画の策定を進めています。計画の内容や地域福祉全般について、御意見がありましたら御記入ください。

※ 第3期岩手県地域福祉支援計画はホームページから御覧いただけます。
「岩手県地域福祉支援計画について」
<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/fukushi/chiiki/fukushisuishin/1023122.html>



問 18 最後に、あなた自身のことについてお聞きします。あてはまるものを選んでください。

(1) 性別

- ① 男 ② 女 ③ その他 ④ 答えたくない

(2) 年齢

- ① 20～29歳 ② 30～39歳 ③ 40～49歳 ④ 50～59歳 ⑤ 60～69歳 ⑥ 70歳以上

(3) 世帯構成

- ① ひとり暮らし ② 家族（親族等）と同居 ③ その他

(4) 就労の状況

- ① フルタイム（自営含む） ② パートタイム ③ 不定期 ④ 就労していない

(5) 住居の形態

- ① 持家（一軒家） ② 持家（マンション等の集合住宅） ③ 借家（一軒家）
④ 借家（アパート等の集合住宅） ⑤ その他

(6) 住居の近隣の状況（徒歩で5分程度の範囲）

- ① 隣家に近接しており、住宅が多く集まっている地区
② 住宅がまばらで少ない地区
③ 自分の住居のほかには住宅がない地区

(7) 住んでいる地域での居住年数（通算）

- ① 5年未満 ② 5年～9年 ③ 10年～19年 ④ 20年～29年 ⑤ 30年以上

(8) 地域の暮らしにおいて、よく使う移動手段（主なもの2つまで）

- ① 鉄道 ② バス ③ タクシー ④ 自動車（運転） ⑤ 自動車（同乗）
⑥ オートバイ ⑦ 自転車 ⑧ 徒歩 ⑨ その他

(9) 日常の買物や通院の便利さ

- ① 便利で特に困ることはない
② 便利な方だが、たまに困ることもある
③ やや不便で、困ることが度々ある
④ 不便で、大変困ることがある

質問は終わりです。御協力ありがとうございました。